

様式第2号の1-①【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の1-②を用いること。

学校名	島根県立大学短期大学部				
設置者名	公立大学法人 島根県立大学				

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

学部名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数				省令で定める基準単位数	配置困難	
			全学共通科目	学部等共通科目	専門科目	合計			
—	保育学科	夜・通信	—	—	7	7	7		
	文化情報学科	夜・通信	—		7	7	7		
		夜・通信							
		夜・通信							
(備考)									

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

ホームページに掲載する。 掲載先アドレス： http://www.u-shimane.ac.jp/announce/tanki/
--

3. 要件を満たすことが困難である学部等

学部等名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	島根県立大学短期大学部
設置者名	公立大学法人 島根県立大学

1. 理事（役員）名簿の公表方法

ホームページにて公表

<https://www.u-shimane.ac.jp/foundation/publication/officer.html>

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	島根電工株式会社代表取締役社長	2025.4.1～2027.3.31	地域社会が大学に求めている意見を企業経営者等の立場から、大学運営に反映させる
非常勤	株式会社山陰合同銀行石見営業本部長	2025.4.1～2027.3.31	同上
非常勤	NPO 法人てごねっと石見理事長	2025.4.1～2027.3.31	同上
(備考)			

様式第2号の3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	島根県立大学短期大学部
設置者名	公立大学法人 島根県立大学

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画書(シラバス)を作成し、公表していること。

(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)

シラバス作成の手引きを作成し、各項目における表記のポイント及び記載例を具体的に例示している。併せて作成スケジュールも明記し、公開までの進行管理を行っている。次年度のシラバス公開は凡そ前年度末の3月下旬を予定している。作成されたシラバスは広く公開することとし、学外者であってもホームページにおいてPDFの閲覧やシステムによる検索が可能である。

授業計画書の公表方法	http://www.u-shimane.ac.jp/junior_college_department/hoiku/05silabus.html http://www.u-shimane.ac.jp/junior_college_department/soubun/05silabus.html
------------	--

2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。

(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)

授業科目毎に作成されたシラバスに明記されている評価方法（レポート〇%、小テスト〇%、期末テスト〇%等、授業科目によって異なる。）により、100点満点で採点を行い、結果を下記のとおり評価する。

90～100 秀

80～89 優

70～79 良

60～69 可

0～59 不可

このうち、「可」以上の成績を修めたものを合格とし、単位を与える。

3. 成績評価において、GPA等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)

「島根県立大学・島根県立大学短期大学部におけるGPA制度の取り扱いに関する要項」を策定し、要項に基づき学部毎に運用している。GPAは下記の計算式で算出し、学期GPA及び累計GPAを学生に公表し、自身による学修成果の確認が容易になるよう取り組んでいる。

(1) 学期GPAの計算式

$$\frac{\text{当該学期の「秀」の単位数} \times 4 + \text{「優」の単位数} \times 3 + \text{「良」の単位数} \times 2 + \text{「可」の単位数} \times 1}{\text{当該学期の総履修登録単位数}}$$

(2) 累積GPAの計算式

$$\frac{\text{全期間の「秀」の単位数} \times 4 + \text{「優」の単位数} \times 3 + \text{「良」の単位数} \times 2 + \text{「可」の単位数} \times 1}{\text{全期間の総履修登録単位数}}$$

客観的な指標の 算出方法の公表方法	「履修の手引き」等学生に配布する資料により公表してい る。
----------------------	----------------------------------

4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)

下記の通りディプロマ・ポリシーを策定し、方針に基づいた卒業認定を実施している。卒業必須 64 単位を取得し、以下のディプロマポリシーに基づく能力や知識等を身につけている学生について、卒業認定会議を経て卒業者を決定する。

島根県立大学短期大学部

[知識・技能]

- 人間と文化について基礎的な知識や技能を身に付けています。

[思考力・判断力・表現力]

- 課題に向けて自ら考え、表現する力を身に付けています。

[関心・意欲・態度]

- 人々と協働して地域社会に貢献しようとする態度を身に付けています。

保育学科

文化情報学科

[知識・技能]

- 保育及び関連する諸分野に関する基礎的な知識及び技能を身に付けています。

[思考力・判断力・表現力]

- 学修した基礎知識や技能を用いて課題解決に向けた思考判断ができる。
- 保育をめぐる諸課題を把握し、自らの考えを述べることができる。

[関心・意欲・態度]

- 地域社会において保育者としての役割を果たすことができる人権感覚、倫理観及び職業観を身に付けています。

[知識・技能]

- 島根、日本および世界の文化に関する基礎知識を身に付けています。
- 情報化に対応したコンピュータの基礎的な技を身に付けています。
- 国際化に対応した言語の基礎的な運用能力身に付けています。

[思考力・判断力・表現力]

- 文化情報学科における幅広い学びの中から体的に課題を設定することができます。
- 設定した課題について、自らが思考・判断・するためには必要な、日本語の基礎的能力を身に付けています。

[関心・意欲・態度]

- 身の回りの地域で生じている諸課題と主にかかわる態度を身に付けています。

卒業の認定に関する
方針の公表方法

ホームページにて公表。

<http://www.u-shimane.ac.jp/university/announce/tanki.html>

様式第2号の4-①【(4)財務・経営情報の公表(大学・短期大学・高等専門学校)】

※大学・短期大学・高等専門学校は、この様式を用いること。専門学校は、様式第2号の4-②を用いること。

学校名	島根県立大学短期大学部
設置者名	公立大学法人 島根県立大学

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	ホームページにて公表 https://www.u-shimane.ac.jp/foundation/publication/
収支計算書又は損益計算書	ホームページにて公表 https://www.u-shimane.ac.jp/foundation/publication/
財産目録	-
事業報告書	ホームページにて公表 https://www.u-shimane.ac.jp/foundation/publication/
監事による監査報告（書）	ホームページにて公表 https://www.u-shimane.ac.jp/foundation/publication/

2. 事業計画（任意記載事項）

中長期計画（名称：公立大学法人島根県立大学第4期中期計画 対象年度：H7～R12）
公表方法：ホームページにて公表 https://www.u-shimane.ac.jp/files/uploads/koritsushimane_dai4_chukikeikaku_1.pdf

3. 教育活動に係る情報

（1）自己点検・評価の結果

公表方法：ホームページにて公表。 https://www.u-shimane.ac.jp/foundation/31check/
--

（2）認証評価の結果（任意記載事項）

公表方法：ホームページにて公表。 https://www.u-shimane.ac.jp/foundation/31check/
--

(3) 学校教育法施行規則第172条の2第1項に掲げる情報の概要

①教育研究上の目的、卒業又は修了の認定に関する方針、教育課程の編成及び実施に関する方針、入学者の受入れに関する方針の概要

学部等名	教育研究上の目的（公表方法：「島根県立大学短期大学部学則」に記載。）	
(概要)	(概要) (概要)	
	保育学科	文化情報学科
保育学を中心に、教育学、心理学、社会福祉、音楽、体育、美術、小児保健等の各分野を教育研究対象として、保育士及び幼稚園教諭の養成を行うとともに、現代の子育てを取り巻く社会及び家庭環境の変化等に伴う、より高度で多岐にわたる専門性が求められていることを踏まえ、これら広範囲にわたる分野について総合的に保育学・幼児教育学に関する研究に取り組むこと。		
島根、日本および世界の文化に関する基礎的知識と技能を身につけ、グローバルな視点から地社会と主体的に関わることができる人材を養成すとともに、人類学、言語学、文学、情報学等の各分野において、文化および文化資源に関する教育研究学際的かつ多面的に取り組むこと。		
卒業の認定に関する方針（公表方法：ホームページにて公表。 http://www.u-shimane.ac.jp/university/announce/tanki.html ）		
(概要)	(概要)	
	保育学科	文化情報学科
[知識・技能] <ul style="list-style-type: none"> 人間と文化について基礎的な知識や技能を身に付けています。 [思考力・判断力・表現力] <ul style="list-style-type: none"> 課題に向けて自ら考え、表現する力を身に付けています。 [関心・意欲・態度] <ul style="list-style-type: none"> 人々と協働して地域社会に貢献しようとする態度を身に付けています。 		
[知識・技能] <ul style="list-style-type: none"> 保育及び関連する諸分野に関する基礎的な知識及び技能を身に付けています。 [思考力・判断力・表現力] <ul style="list-style-type: none"> 学修した基礎知識や技能を用いて課題解決に向けた思考判断ができる。 保育をめぐる諸課題を把握し、自らの考えを述べることができる。 [関心・意欲・態度] <ul style="list-style-type: none"> 地域社会において保育者としての役割を果たすことができる人権感覚、倫理観及び職業観を身に付けています。 		
[知識・技能] <ul style="list-style-type: none"> 島根、日本および世界の文化に関する基礎的知識を身に付けています。 情報化に対応したコンピュータの基礎的な技能を身に付けています。 国際化に対応した言語の基礎的な運用能力を身に付けています。 [思考力・判断力・表現力] <ul style="list-style-type: none"> 文化情報学科における幅広い学びの中から、主体的に課題を設定することができる。 設定した課題について、自らが思考・判断・表現するために必要な、日本語の基礎的能力を身に付けています。 [関心・意欲・態度] <ul style="list-style-type: none"> 身の回りの地域で生じている諸課題と主体のかかわる態度を身に付けています。 		

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：ホームページにて公表。 http://www.u-shimane.ac.jp/university/announce/tanki.html ）	
(概要)	
保育学科	文化情報学科
<p>短期大学部では、2年間の体系的な教育課程を編成するため、科目の大きな区分として[基礎科目] [専門科目]の科目区分を設け、以下のとおりカリキュラムポリシーを定める。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人間と文化、社会、自然のそれぞれの関わりについて基礎的な知識を身に付けるため、[基礎科目] [人間と世界の理解]の科目群を設ける。 ・保育並びに文化に関する専門性を育成するため、[専門科目(保育学科)／専門科目(文化情報学科)]により、両学科の教育課程に従って専門的な学びを深め、2年次に学びの集大成を図る。 ・地域における保育や文化に関心を持ち、地域で活躍できる実践力を育成するため、[基礎科目] [専門科目(保育学科)／専門科目(文化情報学科)]の全体を通して、実習、演習、フィールドワークなど体験的学修機会を積極的に設ける。 	
<p>1 地域における人間の生き方や文化の様態について価値を見出す能力の育成を目指して、[基礎科目]を編成する。</p> <p>2 子どもの発達や保育課題についての実践的専門性の育成を行うために、保育及び関連する諸分野に関する[専門科目]を編成する。</p> <p>3 集団での協同的実践力の育成を行うことを目的として、グループによるアクティブラーニングと実習体験活動の科目を配置する。</p>	
<p>1 コンピュータの基礎的な技能の養成を目指して[基礎科目]に[情報リテラシー]科目群を配置する。</p> <p>2 主題的に課題を設定し、自ら思考・判断・表現するために必要な日本語の基礎的能力と情報発信ための基礎的な力の養成を目的として、[専門科目]に[文化情報プロジェクト]科目群を配置する。</p> <p>3 島根、日本および世界の文化に関する基礎的知識の習得を目的として、[専門科目]に[日本と世界の文化] [言語と文化] [文化情報資源の活用]科目群を配置する。</p> <p>4 国際化に対応した言語の基礎的な運用能力の養成を目指して、[専門科目]に[言語と文化]科目群を配置する。</p> <p>5 身の回りの地域で生じている諸課題と主体にかかわる態度の育成を目的として、[専門科目] [文化情報資源の活用] [文化情報研修]の科目群を配置する。</p> <p>6 司書資格の取得を可能とするため、卒業要件かかる科目とは別に[資格科目]を配置する。</p>	
入学者の受入れに関する方針（公表方法：ホームページにて公表。 http://www.u-shimane.ac.jp/university/announce/tanki.html ）	

(概要)

保育学科

文化情報学科

[知識・技能]

- ・高等学校における基本的な教科を理解し、短期大学で学んでいく上で必要な基礎的学力を有している人

[思考力・判断力・表現力]

- ・基礎的コミュニケーション能力を持ち、自分の考えを的確に表現できる人

[主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度]

- ・多様な視点から学び、その成果を地域のために役立てる意欲のある人

[知識・技能]

- ・短期大学で学んでいく上で必要な基礎的な学力を有している人

[思考力・判断力・表現力]

- ・課題の内容を理解し、自分の考えを的確に言葉や文章によって伝えることができる人

[主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度]

- ・保育者として、他者と協調しながら社会に貢献していくとする強い意欲を有している人

[知識・技能]

- ・他者とコミュニケーションするために必要とされる国語と英語の基礎的な技能を有している人

[思考力・判断力・表現力]

- ・短期大学で主体的に考えを進めてゆくために必要な思考力・判断力・表現力を有している人

[主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度]

- ・日本と海外諸地域における文化と社会に関する様々な事象に対して興味・関心を有している人
- ・地域が抱える社会的・文化的諸課題を共感をもって理解し、その解決に向けて地域の多様な人びとと協働する意欲と態度を有している人

卒業又は修了の認定に関する方針（公表方法：）

(概要)

教育課程の編成及び実施に関する方針（公表方法：）

(概要)

入学者の受け入れに関する方針（公表方法：）

(概要)

②教育研究上の基本組織に関すること

公表方法 :

③教員組織、教員の数並びに各教員が有する学位及び業績に関すること

a. 教員数（本務者）															
学部等の組織の名称	学長・副学長	教授	准教授	講師	助教	助手その他	計								
—	人	—	—	—	—	—	人								
保育学科	—	4人	2人	1人	1人	0人	8人								
文化情報学科	—	3人	4人	1人	0人	0人	8人								
b. 教員数（兼務者）															
学長・副学長		学長・副学長以外の教員				計									
		2人				27人									
各教員の有する学位及び業績 (教員データベース等)		公表方法： http://www.u-shimane.ac.jp/announce/tanki/													
c. FD（ファカルティ・ディベロップメント）の状況（任意記載事項）															

④入学者の数、収容定員及び在学する学生の数、卒業又は修了した者の数並びに進学者数及び就職者数その他進学及び就職等の状況に関するこ

a. 入学者の数、収容定員、在学する学生の数等								
学部等名	入学定員 (a)	入学者数 (b)	b/a	収容定員 (c)	在学生数 (d)	d/c	編入学定員	編入学者数
保育学科	40人	43人	107.5%	80人	85人	%	0人	0人
文化情報学科	40人	42人	105.0%	80人	86人	%	0人	0人
合計	80人	85人	106.3%	160人	171人	%	0人	0人
(備考)								

b. 卒業者数・修了者数、進学者数、就職者数				
学部等名	卒業者数・修了者数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
保育学科	44人 (100%)	4人 (9.1%)	38人 (86.4%)	2人 (4.5%)
文化情報学科	39人 (100%)	7人 (17.9%)	31人 (79.5%)	1人 (2.6%)
合計	83人 (100%)	11人 (13.3%)	69人 (83.1%)	3人 (3.6%)
(主な進学先・就職先) (任意記載事項)				
(備考)				

c. 修業年限期間内に卒業又は修了する学生の割合、留年者数、中途退学者数（任意記載事項）					
学部等名	入学者数	修業年限期間内 卒業・修了者数	留年者数	中途退学者数	その他
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
合計	人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(備考)					

⑤授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業の計画に関すること

(概要) シラバス作成の手引きを作成し、各項目における表記のポイント及び記載例を具体的に例示している。併せて作成スケジュールも明記し、公開までの進行管理を行っている。次年度のシラバス公開は凡そ前年度末の 3 月下旬を予定している。作成されたシラバスは広く公開することとし、学外者であってもホームページにおいて PDF の閲覧やシステムによる検索が可能である。（再掲）

⑥学修の成果に係る評価及び卒業又は修了の認定に当たっての基準に関すること

(概要)

<学修の成果に係る評価について>

授業科目毎に作成されたシラバスに明記されている評価方法（レポート〇%、小テスト〇%、期末テスト〇%等、授業科目によって異なる。）により、100 点満点で採点を行い、結果を下記のとおり評価する。

90～100 秀

80～89 優

70～79 良

60～69 可

0～59 不可

このうち、「可」以上の成績を修めたものを合格とし、単位を与える。

<卒業又は修了の認定に当たっての基準について>

(概要)

<学修の成果に係る評価について>

授業科目毎に作成されたシラバスに明記されている評価方法（出席点〇%、レポート〇%、小テスト〇%、期末テスト〇%、授業態度〇%等、授業科目によって異なる。）により、100 点満点で採点を行い、結果を下記のとおり評価する。

90～100 秀

80～89 優

70～79 良

60～69 可

0～59 不可

このうち、「可」以上の成績を修めたものを合格とし、単位を与える。

<卒業又は修了の認定に当たっての基準について>

島根県立大学短期大学部

[知識・技能]

- 人間と文化について基礎的な知識や技能を身に付けている。

[思考力・判断力・表現力]

- 課題に向けて自ら考え、表現する力を身に付けている。

[関心・意欲・態度]

- 人々と協働して地域社会に貢献しようとする態度を身に付けている。

保育学科

文化情報学科

[知識・技能]

- 保育及び関連する諸分野に関する基礎的な知識及び技能を身に付けている。

[知識・技能]

- 島根、日本および世界の文化に関する基礎的な知識を身に付けている。
- 情報化に対応したコンピュータの基礎的な技能を身に付けている。
- 国際化に対応した言語の基礎的な運用能力を身に付けている。

[思考力・判断力・表現力]

- 学修した基礎知識や技能を用いて課題解決に向けた思考判断ができる。
- 保育をめぐる諸課題を把握し、自らの考えを述べることができる。

[思考力・判断力・表現力]

- 文化情報学科における幅広い学びの中から、主体的に課題を設定することができる。
- 設定した課題について、自らが思考・判断・表現するために必要な、日本語の基礎的能力を身に付けている。

[関心・意欲・態度]

- 地域社会において保育者としての役割を果たすことができる人権感覚、倫理観及び職業観を身に付けている。

[関心・意欲・態度]

- 身の回りの地域で生じている諸課題と主体的にかかわる態度を身に付けている。

学部名

学科名

卒業又は修了に必要となる単位数

G P A制度の採用
(任意記載事項)

履修単位の登録上限
(任意記載事項)

保育学科

62 単位

・ 無

なし

文化情報学科

62 単位

・ 無

25 単位

単位

有・無

単位

単位

有・無

単位

G P Aの活用状況(任意記載事項)

公表方法:

学生の学修状況に係る参考情報
(任意記載事項)

公表方法:

⑦校地、校舎等の施設及び設備その他の学生の教育研究環境のこと

公表方法: 公表方法: ホームページにて公表。

松江キャンパス: <http://www.u-shimane.ac.jp/university/announce/tanki.html>

⑧授業料、入学金その他の大学等が徴収する費用に関すること

学部名	学科名	授業料 (年間)	入学金	その他	備考（任意記載事項）
-	保育学科	390,000 円	県内生 112,800 円 県外生 169,200 円	16,000 円	実習等経費
	文化情報学科	390,000 円	県内生 112,800 円 県外生 169,200 円	11,000 円	実習等経費
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	
		円	円	円	

⑨大学等が行う学生の修学、進路選択及び心身の健康等に係る支援に関すること

a. 学生の修学に係る支援に関する取組

(概要) 学業や学校生活全般に関する質問や相談、あるいは個人的な指導等を受けるための時間（オフィスアワー）を全専任教員が設定している。また、教員に対し気軽に何でも相談できる相談会を実施したり、履修登録相談を行ったりしている。また、TA・SA制度等を設け、教員の教育研究業務の補助を行うことで手当の支給を受けるだけでなく、自分自身の能力向上を図ることができる機会を用意している。

b. 進路選択に係る支援に関する取組

(概要) キャリア支援を担当する部署を設置し、学生がいつでも相談できる環境を整えている。また、ゼミ教員と保護者、また学生本人も含めた二者ないし三者面談を実施し、1年次から進路を見据えた教育・学修が行われるよう取り組んでいる。各種資格試験への助成制度もあり、社会で必要とされるスキルの修得を支援している。

c. 学生の心身の健康等に係る支援に関する取組

(概要) 毎年1回の健康診断に加え、こころとからだの相談室を設置し、常駐の看護師が健康面での悩みや相談を受け付けている。また、臨床心理士の資格を持つ本学教員がカウンセリング業務を行なっている。

⑩教育研究活動等の状況についての情報の公表の方法

公表方法：ホームページにて公表。 <http://www.u-shimane.ac.jp/announce/tanki/>

備考 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とする。

(別紙)

※ この別紙は、更新確認申請書を提出する場合に提出すること。

※ 以下に掲げる人数を記載すべき全ての欄（合計欄を含む。）について、該当する人数が1人以上10人以下の場合には、当該欄に「一」を記載すること。該当する人数が0人の場合には、「0人」と記載すること。

学校コード（13桁）	F232210109486
学校名（○○大学 等）	島根県立大学短期大学部
設置者名（学校法人○○学園 等）	公立大学法人 島根県立大学

1. 前年度の授業料等減免対象者及び給付奨学生の数

		前半期	後半期	年間
支援対象者数 ※括弧内は多子世帯の学生等（内数） ※家計急変による者を除く。		25人（－）人	24人（－）人	26人（－）人
内訳	第Ⅰ区分	13人	14人	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅱ区分	—	—	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅲ区分	—	—	
	（うち多子世帯）	（0人）	（0人）	
	第Ⅳ区分（理工農）	0人	0人	
	第Ⅳ区分（多子世帯）	—	—	
区分外（多子世帯）		0人	0人	
家計急変による 支援対象者（年間）				0人（0人）
合計（年間）				26人（－）人
(備考)				

※ 本表において、多子世帯とは大学等における修学の支援に関する法律（令和元年法律第8号）第4条第2項第1号に掲げる授業料等減免対象者をいい、第Ⅰ区分、第Ⅱ区分、第Ⅲ区分、第Ⅳ区分（理工農）とは、それぞれ大学等における修学の支援に関する法律施行令（令和元年政令第49号）第2条第1項第2号イ～ニに掲げる区分をいう。

※ 備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

2. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の取消しを受けた者及び給付奨学生認定の取消しを受けた者の数

(1) 偽りその他不正の手段により授業料等減免又は学資支給金の支給を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

年間	0人
----	----

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、学業成績が廃止の区分に該当したことにより認定の取消しを受けた者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
	年間	前半期	後半期
修業年限で卒業又は修了できないことが確定	人	0人	0人
修得単位数が「廃止」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が廃止の基準に該当)	人	—	0人
出席率が「廃止」の基準に該当又は学修意欲が著しく低い状況	人	0人	0人
「警告」の区分に連続して該当 ※「停止」となった場合を除く。	人	0人	0人
計	人	—	0人
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

上記の(2)のうち、学業成績が著しく不良であると認められる者であって、当該学業成績が著しく不良であることについて災害、傷病その他やむを得ない事由があると認められず、遡って認定の効力を失った者の数

右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限る。）		
年間	人	前半期	0人

(3) 退学又は停学（期間の定めのないもの又は3月以上の期間のものに限る。）の処分を受けたことにより認定の取消しを受けた者の数

退学	0人
3月以上の停学	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

3. 前年度に授業料等減免対象者としての認定の効力の停止を受けた者及び給付奨学生認定の効力の停止を受けた者の数

(1) 停学（3月未満の期間のものに限る。）又は訓告の処分を受けたことにより認定の効力の停止を受けた者の数

3月未満の停学	0人
訓告	0人
年間計	0人
(備考)	

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

(2) 適格認定における学業成績の判定の結果、停止を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限り。）	
	年間	前半期	後半期
G P A等が下位4分の1	人	0人	—

4. 適格認定における学業成績の判定の結果、警告を受けた者の数

	右以外の大学等	短期大学（修業年限が2年のものに限り、認定専攻科を含む。）、高等専門学校（認定専攻科を含む。）及び専門学校（修業年限が2年以下のものに限り。）	
	年間	前半期	後半期
修得単位数が「警告」の基準に該当 (単位制によらない専門学校にあっては、履修科目の単位時間数が警告の基準に該当)	人	0人	0人
G P A等が下位4分の1	人	—	—
出席率が「警告」の基準に該当又は学修意欲が低い状況	人	0人	0人
計	人	—	—
(備考)			

※備考欄は、特記事項がある場合に記載すること。

◆実務経験のある教員による授業科目一覧（短期大学部保育学科）

	学部	学科	科目群	科目名	専任/非常勤	担当教員	単位数	授業科目との関連性
1	短期大学	保育	専門科目	保育内容・健康の指導法	専任	中谷 昌弘	1	高等学校での勤務経験あり
2	短期大学	保育	専門科目	保育内容演習Ⅰ	専任	梶谷 朱美	1	幼稚園、小学校、教育委員会での勤務経験あり
3	短期大学	保育	専門科目	保育原理	専任	渡辺 一弘	2	児童厚生施設（指導員）、教育機関での勤務経験あり
4	短期大学	保育	専門科目	社会福祉概論	専任	宮下 裕一	2	知的障がい者施設での勤務経験あり
5	短期大学	保育	専門科目	幼児と健康	専任	梶谷 朱美	1	幼稚園、小学校、教育委員会での勤務経験あり
短期大学部保育学科合計単位数							7	

◆実務経験のある教員による授業科目一覧（短期大学部文化情報学科）

	学部	学科	科目群	科目名	専任/非常勤	担当教員	単位数	授業科目との関連性
1	短期大学	文化情報	専門科目	日本近代文学Ⅰ	専任	山根 繁樹	2	高等学校での勤務経験あり
2	短期大学	文化情報	専門科目	日本近代文学Ⅱ	専任	山根 繁樹	2	高等学校での勤務経験あり
3	短期大学	文化情報	専門科目	日本文化特論Ⅰ(妖怪学)	非常勤	小泉 凡	2	文化施設での勤務経験あり
4	短期大学	文化情報	専門科目	中国の言語と文化Ⅰ	非常勤	鳥谷 聰子	1	中国での就労経験あり（日本語教師）
短期大学部文化情報学科合計単位数							7	